

高校でデザインを学んだ私は、「同じ赤」でも見る人や角度によって違う感じ方・読み取り方があると知りました。

橋や道路、はたまた人生を計画することも含みます。学んだことと違った視点から学び、

のは新型コロナの影響で5月からでした。大半の授業はオンラインとなり、慣れない環境

ですが、交通費や食費  
が浮き、家事を手伝い  
ながら自習するなど私  
生活に余裕を持って大

形で表現できる。よって、新たな生活様式の中で学びながら柔軟に対応できる力を高めたいです。



第一工業大学 1年  
自然環境工学科

杉本 侑弥 さん

学生活と向き合えていた  
気がします。

方を一步下がつて見直したいと思ったから。デザインは単純に絵や模様を指すのではなく、

「人と自然が共存しやすい環境をつくりたい」と今の道を選びました。

下で製図の実習や環境等の座学などを学んでいます。なかなか大学に出向く機会がないの

学生活と向き合えていたりも留めていなかつた橋の工夫や自宅で何気なく使つていた水道など生活に欠かせないものが急に存在感を放つて目に飛び込んでくるようになりました。新型コロナによってオンラインやテレワークが急増しました。土木も目まぐるしく変化する環境に適応できるデザインが大切。将来、それを社会の役に立つ形で表現できるよう、新たな生活様式の中で学びながら柔軟に対応できる力を高めたいです。